令和4年度国際交流センター主催留学プログラム内容及び成果

プログラム名称	留学先大学（国名） / 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
夏期留学プログラム	CIEオックスフォード（英国） / 13名 ケロンソン大学（オーストラリア） / 18名	語学研修や現地の人々との交流をとおして外国語運用能力を高めるとともに、留学先国の文化や歴史等を学ぶ	《CIEオックスフォード》3週間 令和4年8月2日（火）～ 8月25日（木） 《ケロンソン大学》4週間 令和4年8月19日（金）～ 9月13日（火）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する プロジェクトワーク SDGsをテーマとし、オックスフォード大学生と共に調査・プレゼンテーションを行う（CIEオックスフォードのみ） 企業訪問 シドニーで働く日本人から講話を聴き、海外での勤労観や職業観を養う（ケロンソン大学のみ） 異文化理解 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う レポート提出 現地での語学研修や生活をとおして得た成果をレポートにまとめる	2単位/25名 ※4年次以上の学生、大学院生及び2度目の参加者は単位認定の対象外としている	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う
中期留学プログラム（前期）	ケロンソン大学（米国） / 6名 カルガリー大学（カナダ） / 9名 ライプツィヒ大学（ドイツ） / 1名	実践的なコミュニケーション能力の習得に加え、大学の正規授業を受けるために必要なアカデミックスキル（プレゼンテーション、ノート・テイキング、リサーチ、論文の書き方等）や異文化について学ぶ	《ケロンソン大学》5か月間 令和4年3月23日（水）～ 8月28日（日） 《カルガリー大学》4か月間 令和4年4月16日（土）～ 7月18日（月） 《ライプツィヒ大学》4か月間 令和4年3月30日（水）～ 8月1日（月）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する 異文化理解 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等をテーマに個別に留学先の言語でプレゼンテーションを行うことで、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	12単位/1名 16単位/13名 18単位/1名 ※認定単位数は、留学先での単位修得状況及び所属学部・学科により異なる	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う

プログラム名称	留学先大学（国名） / 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
中期留学プログラム（後期）	ネbraska大学リンカーン校（米国） / 9名 檀国大学（韓国） / 5名	実践的なコミュニケーション能力の習得に加え、大学の正規授業を受けるために必要なアカデミックスキル（プレゼンテーション、ノート・テイキング、リサーチ、論文の書き方等）や異文化について学ぶ	《ネbraska大学リンカーン校》5か月間 令和4年8月15日（月）～ 12月13日（火） 《檀国大学》5か月間 令和4年8月1日（月）～ 12月23日（金）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する 異文化理解 現地学生・講師及び寮のルームメイト等との交流をととして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等をテーマに個別に留学先の言語でプレゼンテーションを行うことで、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	16単位/13名 18単位/1名 ※認定単位数は、留学先での単位修得状況及び所属学部・学科により異なる	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う
長期交換留学プログラム（第1期）	国立中山大学（台湾） / 1名	協定校で現地学生と共に正規授業を履修することで、専門分野の知識を深める	5か月間※ 令和4年8月24日（水）～ 令和5年1月16日（月） ※令和4年2月より留学を開始する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う留学先大学の交換留学生受入れ制限のため、派遣期間を変更した	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 正規授業の履修 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める 【帰国後】 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	17単位/1名 ※認定単位数は、留学先での単位修得状況及び所属学部・学科により異なる	留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき、単位認定可否の審査を行う

プログラム名称	留学先大学（国名） / 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
長期交換留学プログラム（第2期）	ネブラスカ大学リカン校（米国） / 2名 オレゴン大学（米国） / 2名 サスケハナ大学（米国） / 3名 イェロウナイフ大学（米国） / 2名	協定校で現地学生と共に正規授業を履修することで、専門分野の知識を深める	《ネブラスカ大学リカン校》12か月間 令和4年5月15日（日）～ 令和5年5月25日（木） 《オレゴン大学》10か月間 令和4年6月15日（水）～ 令和5年3月29日（水） 《サスケハナ大学》12か月間 令和4年6月1日（水）～ 令和5年5月15日（月） 《イェロウナイフ大学》12か月間 令和4年6月26日（日）～ 令和5年5月31日（水）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 正規授業の履修 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める 【帰国後】 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自ラリプレクシオンを行う	10単位/1名 12単位/2名 16単位/1名 20単位/1名 26単位/2名 30単位/2名 ※認定単位数は、留学先での単位修得状況及び所属学部・学科により異なる	留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき、単位認定可否の審査を行う
春期留学プログラム	カルガリー大学（カナダ） / 17名 ワイク大学（ニュージーランド） / 9名 慶熙大学（韓国） / 20名 アリカンテ大学（スペイン） / 6名	語学研修や現地の人々との交流をとおして外国語運用能力を高めるとともに、留学先国の文化や歴史等を学ぶ	《カルガリー大学》5週間 令和5年2月10日（金）～ 3月19日（日） 《ワイク大学》4週間 令和5年2月3日（金）～ 3月5日（日） 《慶熙大学》3週間 令和5年3月3日（金）～ 3月25日（土） 《アリカンテ大学》4週間 令和5年2月3日（金）～ 3月5日（日）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する 異文化理解 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う レポート提出 現地での語学研修や生活をとおして得た成果をレポートにまとめる	2単位/49名 ※4年次以上の学生、大学院生及び2度目の参加者は単位認定の対象外としている	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う